

全校音楽 ミニコンサート開催

13日、進行役の3人の5年生の「これから、中小ミニコンサートを始めます。」の開会宣言で、恒例のミニコンサートが始まりました。4人のソロ発表、2つのグループ発表、5つの学級発表の他、5・6年の合同発表など、12組のエントリーがありました。

楽器を通して「音でお話」をする発表、しっかりと聞かせるピアノの独奏、楽器を効果音として取り入れたり、身ぶり手ぶりを取り入れたりした歌の発表、そして、息をそろえた合奏など、一つ一つの発表にそれぞれのよさや持ち味が見られました。中川っ子のリーダーを引き継ぎ始めた進行役の5年生は、一つ一つの発表にコメントを添えながら、ていねいにミニコンサートを進めていました。

「こんなふうに表現してみたい」という自分の思いを、今回は「音楽」という形で伝える機会となりました。他にも、「スピーチで」「作文で」「絵や立体で」「体の動きで」など、表現方法はいろいろありますが、このような「自分の思いをアウトプットする機会」を、学校生活のいろいろな場面で積み重ね、「自分の思いを伝える」「相手の思いを受け止める」という相手意識を高めていきたいと思います。ミニコンサートが終わると、子どもたちは、すぐにメッセージカードを手に取り、友達へのメッセージを書いていた。ごく自然に互いのよさを認め合う姿に、平成23年からの全校音楽の積み重ねを感じました。また、お忙しい中ご参観くださった皆様、どうもありがとうございました。



1年生の音楽づくり「ほし空のおんがく」



2年生の合奏「かっこう」



3年生の歌「おかしなすきなまほうつかい」



4年生の歌「いつだって！」



6年生の合奏「そよ風のデュエット」



5・6年の合奏「威風堂々」



進行役を務める5年生



全校児童の歌「365日の紙飛行機」



ソロ演奏に聴き入る中川っ子

主体的・対話的に学ぶ～1年生のがんばり～

12月12日（火）には指導主事訪問があり、1年生「いろいろな音を楽しもう」の音楽の授業を見せていただきました。

1年生は、トライアングル、鈴、鉄琴の3つの楽器を使って「音の鳴らし方」を工夫して表現する活動に取り組みました。この題材では、楽器をたくさん鳴らしてみる体験を通して、「鳴らし方を変えると音色が変わること」をつかみます。その上で、「夕方」「夜」「明け方」の「星空の変化」に合わせて音楽を作っていました。その際、同じリズムを繰り返したり、楽器でお話したりするようにしながら組み立てていました。そして、演奏している様子をタブレットで撮影した動画を視聴して、自分たちの演奏をふり返っていました。1年生の今の時期から、「①新しく分かったこと、②友達から学んだこと、③次にやってみたいこと」の3つの視点でふり返りを行うことができるのは、これまでの8カ月あまりの積み重ねによるものだと改めて感じました。

昨日のミニコンサートでは、この時間に作った音楽をもとに、星空の3つの場面に合わせて発表することができました。12日の研究授業から中1日での発表でしたが、トライアングル、鈴、鉄琴の3つの楽器を交代して受け持ちながら、全校のみんなの前で発表する姿は、とっても誇らしげでした。

指導主事の先生からは、「①学習へしっかりと向かっていること」「②音楽ノートを使って学習を積み重ねていること」「③3つの視点に沿って学習をふり返ることができること」などがすばらしいというお褒めの言葉をいただきました。これらのことを、今後も学習や学校生活づくりに向かう上で大切に、「確かな力」を身に付けさせていきたいと思います。



実際に音を鳴らしてイメージを確認



自分たちの演奏の動画を見てふり返り



音楽ノートを使って学習のふり返り

まなびー教室 今年度最終

12月14日（木）は、今年度のまなびー教室の最終回でした。夏休みを含めて年間10回の開催でした。最終回の今日は、足下の悪い中、6名の先生方がおいでくださいました。毎回毎回、一人一人にやさしく声をかけ、ヒントをあげたり丸付けしたり、親身になってお世話いただきました。子どもたちの様子を見てみると、教室で学習しているときとはちがった表情が見られます。ほんわかとした温かさや安心感に包まれて学習に取り組んでいることが伝わってきます。これは、「中川地域のみなさんに見守られている。」ということ、子どもたちが肌で感じているからだと思います。本当にありがたく思っています。まなびーティーチャーズのみなさん、1年間ご難儀をおかけしました。来年もよろしくお願ひします。

